

第4回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名:東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環境学専攻

【専攻の概要】

- 基幹講座3、協力講座7、講座ごとに教授、准教授、助教(1-2名)、定員をほぼ充足。大学院定員修士35名、博士7名講座教員の専門領域は物理化学、有機化学、無機化学、高分子化学、化学工学、生物化学、
- 昭和49年(1978年)化学環境工学専攻として発足。基幹講座の母体講座は、理学系、工学系が半分ずつ参加する。(化学が社会から悪者として見られていた時期に、新しい概念をもって専攻を設立)
研究所教員が教育に加わる協力講座の設置 大学院大学の専攻として始まり、後の大学院重点化の具体的な研究科、専攻としての役割をもって発展した。
平成10年(1988年)大学院改組 化学環境学専攻と名称変更

【取組みの概要】

[目指す人材像]

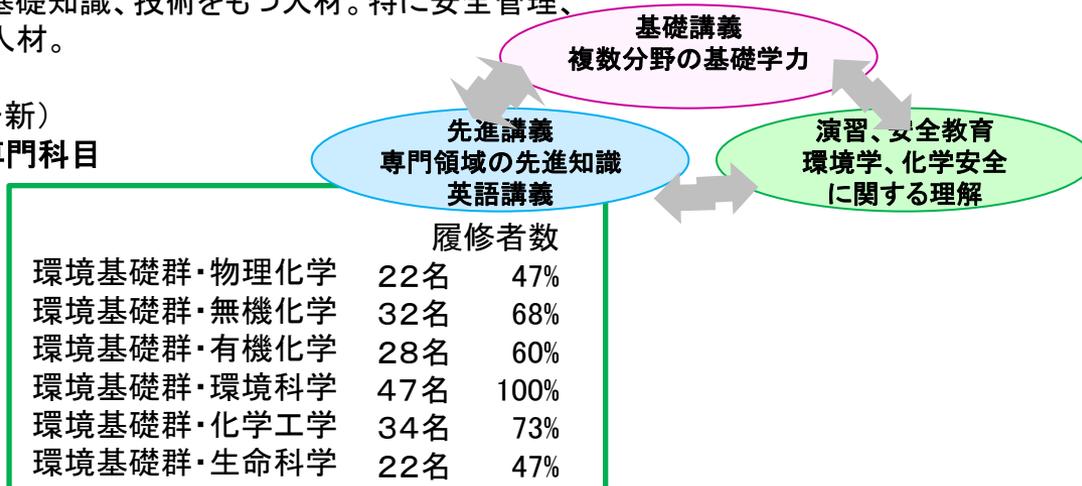
- 専門領域における課題発見、解決能力を有する人材。
- 化学の専門家としての広い視野、基礎知識、技術をもつ人材。特に安全管理、環境保全についての規範を有する人材。

[内容]

- カリキュラム(平成24年、2012年一新)

修士課程1年前期における基礎専門科目

選択必修による広い知識の習得
試験による客観的な評価
経年による成績の推移の比較



修士課程1年後期における専門科目(先進講義)

物理化学、有機化学、無機化学、高分子化学、化学工学の専門分野学生を対象とする
英語での講義によって、英語で専門を理解し、英語で討論する。

連絡先

- 担当者名:小坂田耕太郎
- Tel: 045-924-5224
- E-Mail: kosakada@res.titech.ac.jp

第4回 化学人材育成プログラム支援対象専攻 取組みの概要

専攻名： 東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環境学専攻

【取組みの概要】

○カリキュラム

環境関連の特別講義、演習

化学環境学特論 第一、第二 (化学環境先端研究の文献調査、学内の環境測定、企業訪問)

化学環境学特別講義 (学外講師(主に企業在籍講師)による集中講義)

リーダーシップ論 (産官学のリーダーによる講義)

○カリキュラム外の取組み

修士、博士論文研究:内容の可視化と客観評価、発表能力、問題解決能力の涵養

- 1) 主査1名、副査1名による共同指導
広範な分野、視点からのかたよらない指導を徹底
- 2) 修士1年12月に修士論文中間発表会を開催
ポスター形式で長時間の発表、
各分野の教員、学生による評価(優秀者表彰)
- 3) 修士論文発表会
4名以上の教員による評価(博士進学者は5名以上)
優秀者は専攻表彰、奨学金免除評価に反映させる
- 4) 博士論文発表会
合格の最低基準についての内規設定。共著者の確認
などの倫理規定を明確化

博士学生育成のための専攻の取組み

- 1) 研究室の運営のアシスタント、安全管理、
修士学生教育 リサーチアシスタントとしての待遇
- 2) 国際化の支援
国際大学院への専攻参加
国際学会旅費援助(協力講座)
- 3) 博士進学学生への経済支援

連絡先

- 担当者名:小坂田耕太郎
- Tel: 045-924-5224
- E-Mail: kosakada@res.titech.ac.jp